



ŌMIYA NEWS



No.188

2022年4月21日

JR 東労組大宮地本

大宮支社の現業機関における柔軟な働き方の実現及び業務体制の見直しについて提案を受ける!(4月15日)~その3~

■提案内容 (3)

1 実施内容及び実施日

東川口駅の管理体制を見直すとともに被管理化し、南越谷駅を管理箇所とする。

実施日：令和4年8月1日

2 スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月
社員周知	▼				
教育・訓練			●	●	
施策実施					★

3 教育等

必要な教育・訓練は実施する。

■箇所体制について 令和4年8月1日時点

		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
東川口駅	管理	2		2	1		1
	一般		2	2		2	2
南越谷駅	管理	1	1	2	2	1	3
	一般	1	3	4		3	3

※業務の繁閑等に応じて1日当たりの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある

提案冒頭

大宮地本は「大宮支社の現業機関における柔軟な働き方の実現について」の提案と聞いていたところ提案の席では「大宮支社の現業機関における柔軟な働き方の実現及び業務体制の見直しについて」という件名で資料が準備されていました。事前の説明もなく提案内容が変わることに対し、信義誠実に反する行為であることを指摘し「今回は勤労課の不手際であり、反省する」「提案内容と日程調整については事前に丁寧な説明を行う」「複合的要素のある提案について今回を前例にしない」ことを確認し提案を受けました。

今後、大宮地本は申し入れを行い、会社と議論していきます。

提案時の議論内容要旨

(1) について

- 全システムに関わる施策である
- この3か所は首都圏エリアの通勤輸送を担うところ
- 大宮は新幹線の重要拠点、浦和東はイベント開催箇所を抱えるなどの特情がある
- 浦和西は武蔵浦和駅を拠点とし、企画業務を行うスペースを確保する
- 5月から他駅勤務の見習いを考えている（作業ダイヤに入ることに 대해서는ハードルがあると指摘）

(2) について

- 「みどりの窓口」を営業終了する根拠はエリア内の窓口配置状況を勘案した
- 「話せる指定席券売機」の設置基準は利用状況とエリア内のバランスを踏まえて設置する
- チケット改革を進めていく目的がある

(3) について

- イベント開催時は管理駅と連携を図って対応する考え
- 営業統括センター発足後は、ノウハウのあるさいたま新都心駅なども連携していく考え

仲間と共に職場での議論を深め、安全で働きがいのある職場を私たちの手で創り出そう!!